池田民報

2022年7月発行

No. 225号

日本共産党池田支部の政策・見解を紹介します。
今回は参議院選挙の結果と町議会6月定例会の概要についてお知らせします。

発行責任者　山本久子　☎　61-1066
町議会議員　服部久子　☎　62-4357
〃　薄井孝彦　☎　62-5093

参議院選挙

共産党４議席獲得　引き続き　平和・暮らしに全力を尽くします

7月10日に行われた参議院選挙。日本共産党は平和と暮らしを守る政策を掲げてたたかい、市民と野党との共闘で「杉尾秀哉」氏の当選をかちとりました。

しかし、比例区の共産党議席は2016年から２議席減らし３議席となり、「武田良介」の議席を失いました。皆さんのご期待に応えられなかったことお詫びいたします。

岸田首相は選挙後、「できるだけ早く（改憲）発議をしたい」と公言しました。引き続き、憲法9条改憲を許さず、平和で安心して暮らせ、気候危機打開、ジェンダー平等を実現するため全力を尽くします。今後ともご支援をお願いいたします。

日本共産党池田支部

６月議会報告

6月議会は6月7日から17日まで行われ承認6件、議案2件を審議し、いずれも承認・可決しました。また、陳情2件を審査し、いすれも採択し関係機関に意見書を送りました。

令和４年度一般会計補正予算の目玉　　補正額　2,834万円

◎子育て世帯生活支援特別給付金事業　445万円

県補助金を活用し、低所得の子育て世帯の子ども1人当たり5万円を給付する。
［財源］　県補助金　445万円

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業　414万円

コロナの蔓延防止を図るため4回目接種を7月6日から行う。今回、18歳から59歳の基礎疾患のない方の接種は自主申告になります。
［財源］国補助金　414万円

◎ 農業振興事業　348万円

県の交付金を用い、水稲育苗ビニールハウス２棟の建設費を補助する。また水田転作を進めるため大豆播種機購入費の1/2を補助する。
［財源］　県交付金 300万円
　　県補助金　48万円

だいずはしゅき
大豆播種機イメージ

◎ 地域資源再発見・発信事業委託料　236万円

県の地域発元気づくり支援金を活用し、浅原六朗の生い立ちや業績、童謡「てるてる坊主」などを映像コンテンツで作成し、浅原六朗や童謡価値の再発見及び池田町の情報発信に役立てる。
［財源］　県補助金　131万円
　　町一般財源　105万円

◎陳情　「水田の直接支払い交付金の見直しに関する陳情」

○陳情団体　北アルプス民主商工会
　　県農民連中信農民センター
○内容　国が今年から5年間に一度も水稲を作らない転作田は直接支払い交付金の対象にしないとした見直しを撤回する。
○審査結果　全議員の賛成で採択
【賛成討論　薄井孝彦 】
○交付金が支給されないと転作作物栽培の採算がとれなくなり耕作放棄地が増え、町の田園風景の良さが失われる。また、米価が下落し農業資材が高騰するなかで農家経営を厳しくする交付金の見直しはすべきでない。

◎陳情　「再審制度の速やかな改正を求める陳情」

○陳情団体　日本国民救援会長野県本部大北支部
○内容　冤罪をなくすため再審法を改正する。
○審査結果　全議員の賛成で採択

【賛成討論　服部久子 】
○再審法の改正は被害者や日本弁護士連合会が先頭に立って求めている。再審では証拠開示の法的規制がなく、検察が21年間も証拠を隠し続けた例もあり、冤罪の一因となっている。
冤罪被害者を出さないために再審法の改正は必要である。